令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立中央南生涯学習プラザ	施設所管課	地域協働局　中央地域課			
施設住所	尼崎市西御園町93-2	竣工	S58.3（築満43年）			
設置目的	教育基本法（平成18年法律第120号）第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供					
主な事業内容	施設管理業務（①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること②使用料の徴収、減免及び還付③施設及び供用備品の維持管理④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕⑤利用状況等統計、その他）					
指定管理者名	公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団	指定期間	自	R4.4.1	至	R9.3.31

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

安心して快適に利用できる施設管理とサービスを提供し、より多くの市民に利用される施設を目指す。

実施結果

利用者満足度が0.3%減少している（指標①）が、「不満」の理由として、備品の老朽化等があげられており、予算の範囲内で備品の入れ替え等を実施し、より利用しやすい施設を目指している。積極的に新たな団体と繋がり講座等を実施したこともあり、施設利用率は増加している（指標②）。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：　利用者アンケートにおける利用者満足度「とても満足・満足」の割合（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	90.0%	90.1%	90.2%	90.3%	90.4%
実績	－	－	－	－	－	－	94.4%	96.6%	97.1%	96.8%	
達成度	－	－	－	－	－	－	105%	107%	108%	107%	
評価	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	

指標②：　施設利用率（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	25.0%	25.1%	28.4%	28.5%	28.6%
実績	－	33.9%	33.2%	30.6%	23.0%	24.9%	28.4%	28.3%	29.5%	30.1%	
達成度	－	－	－	－	－	－	114%	113%	104%	106%	
評価	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者がより快適に施設を利用できるよう、計画的な修繕を実施する。

実施結果及び評価

自動ドア設備保守点検における「開閉時に異音がある」との指摘を受け速やかに修繕を行うなど、利用者が安全に利用できる修繕を実施した。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

用紙の両面コピー・裏面利用の徹底やペーパーレス化の推進等、エコオフィスづくり指針に準拠した取組を積極的に行う。

実施結果及び評価

こまめに空調を切ったり、間引き照明に取り組むなど、エコオフィスづくり指針の取組内容の約85%を実施し、効率的な運営と環境への配慮を両立している。

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	30,659,000	30,659,000	0	人件費	15,840,909	19,890,394	-4,049,485
			0	施設維持管理運営費	9,785,455	9,182,342	603,113
			0	事務費・一般管理費等	495,454	308,919	186,535
			0	その他	4,380,182	2,788,223	1,591,959
収入計	30,659,000	30,659,000	0	支出計	30,502,000	32,169,878	-1,667,878

２　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	中央南生涯学習プラザは、屋内プールと中央体育館との複合施設になっており、同じ指定管理者が施設の一体管理を行うことにより、効果的な質の高いサービスの提供等ができる。
指定管理者自身が設定した目標	複合施設の一体管理を行うことで、総合案内・管理運営を行い、より安全・安心な環境の提供と、施設の利用促進のPRを図る。

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	多くの市民が集い、互いに多種多様な学びを通して、自己の充実や心豊かな生活が送られるよう、生涯にわたり楽しく活動ができる中心的な施設						
目標指標	指標	利用者アンケートにおける利用満足度「とても満足・満足」の割合（%）					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	90.0	90.1	90.2	90.3	90.4	利用者の満足度が高く、目標を上回っている
	実績値	94.4	96.6	97.1	96.8		

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月１回程度の定例会議を行うなかで、日々の貸室状況や窓口対応の困難な事例などを詳細に共有し、共に解決策を考えるなど、より信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

登録グループ化を目指した事業を共催で実施し、講師の手配や内容の調整、チラシの作成、受付等を役割分担のうえ行った結果、受講者を中心とした登録グループ化につながり、プラザのにぎわい創出や貸室の利用率の向上に寄与できた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

図書室等や貸室・プラザグループの利用促進やPR強化については、本のおすすめコーナーの設置や体験イベント、サイネージ動画等で広報活動を継続していく。体験イベントでは、講座終了後に登録グループとして活動をスタートされ参加者の学びや出会いの活動につながった。自主事業については主体的な計画を中心に開催し、所管課と共催事業を更に増やし実施することにより、双方の強みを出しPRを図ることで、参加者の新たな出会いの活動につなげる。設備については、令和4年度長寿命化改修工事以外の防火設備等の不備が発生しているため、今後も既設設備の故障が考えられる。他にもトイレ扉や会議室壁紙・ホール控室前壁の破損等もあるため、利用者が安全安心に利用できるように、修繕費の増額について引き続き協議を行う必要がある。光熱水費については、継続して新電力会社と契約しコストダウンに努めているが、今後も社会情勢により燃料費の高騰もあり得るため、予算以上の支出額については、協議をお願いしたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

利用者満足度「とても満足・満足」の割合は昨年度より若干減少しているものの高い水準を維持しており、今後も引き続き質の高いサービスの提供を期待したい。なお「不満」の理由として備品の老朽化があげられているが、予算の範囲内で順次備品の入れ替えを行うなど、できる対応を進められている。今後も、より利用しやすく、活動しやすい施設となるよう引き続き努めていただきたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

質の高いサービスを維持しながら、更なる利用率の向上を目指し、より魅力的な自主事業や市との共催事業を企画・開催していく。また、予算の範囲内で優先順位をつけて計画的に修繕を行い、利用者満足度の高水準の維持を図る。

令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立中央北生涯学習プラザ		施設所管課	地域協働局　中央地域課				
施設住所	尼崎市東難波町2-14-1		竣工	H31.2（築満7年）				
設置目的	教育基本法（平成18年法律第120号）第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供							
主な事業内容	施設管理業務（①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること②使用料の徴収、減免及び還付③施設及び供用備品の維持管理④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕⑤利用状況等統計、その他）							
指定管理者名	尼崎市文化振興財団・シルバー人材センター 共同事業体あまがさきコミュニティパートナーズ	指定期間	自	R6.4.1	至	R11.3.31		

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

プラザ利用者の増につなげるため、快適で安心・安全で利用できる施設管理とサービスの向上を図っていく。

実施結果

利用者アンケートにおいて、施設の清掃状態、掲示物の見やすさ、貸出品などの物品の状態、職員の対応について99%以上の高い評価を受けており（指標①）施設利用者が快適で安心・安全に利用できるよう、適正な施設管理と市民サービスが図られ、施設利用率も概ね目標を達成している。（指標:②）

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートによる利用満足度「非常に良い・良い」の割合（単位：%）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目標	－	－	－	90%	91%	90%	91%	92%	93%	94%	
実績	－	－	－	94.93%	97.07%	99.27%	99.36%				
達成度	－	－	－	－	－	110%	109%				
評価	－	－	－	－	－	◎	○				

指標②：施設利用率（単位：%）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目標	－	－	－	45%	50%	50%	51%	52%	53%	54%	
実績	42.14%	38.04%	42.24%	52.88%	52.53%	51.24%	48.88%				
達成度	－	－	－	118%	105%	102%	96%				
評価	－	－	－	◎	○	○	○				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用に関して使用時間、終了時間の徹底を行い、終了後受付スタッフが清掃、利用状況の確認を行い、万一不具合があれば直ちに対応し、情報の共有に努める。市民のニーズなどを的確かつ迅速に対応するよう努める。

実施結果及び評価

貸室利用者に対する使用時間等の施設利用ルールの徹底は図られている。開館後の清掃や物品の状態については、受付スタッフが担うなどきめ細やかに市民サービスを維持・向上している。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者が安心、安全に利用出来るようにメンテナンス内容を十分把握し内容の精査と管理経費の縮減に努める。また、光熱水費についてもスタッフが積極的に節電、節水などを行う。

実施結果及び評価

管理業務に必要なトイレットペーパーなどの物品購入にあっては、環境負荷の少ない商品を購入するなど「尼崎市エコオフィスづくり指針」の各取組内容の76%を実践していた。しかしながら光熱水費については、ガス使用量は前年比約6%削減できたが、水道使用量については約15%増加した。

△

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	38,185,000	38,185,000	0	人件費	13,300,000	15,728,998	−2,428,998
			0	施設維持管理運営費	19,470,000	18,352,250	1,117,750
			0	事務費	223,620	122,068	101,552
			0	その他	5,191,380	2,732,301	2,459,079
収入計	38,185,000	38,185,000	0	支出計	38,185,000	36,935,617	1,249,383

２　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮されるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているか
指定管理者自身が設定した目標	利用の顧客満足度を最優先とし、快適で安心、安全な環境と親切丁寧なサービスの提供、省エネや再生可能な資源の活用、節電、節水などエコへの取り組みなど環境に配慮した管理運営を行う。

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿		利用者に対し、快適で安心・安全な環境など質の高いサービスの提供、環境に配慮した施設管理					
目標指標	指標	利用者アンケートにおける利用満足度「とても良い・良い」の割合（%）					
	指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	達成状況の評価
	目標値	90.00	91.00	92.00	93.00	94.00	目標値を大幅に超えることができた
	実績値	99.27	99.36				

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

毎月1回の月例報告提出時に意見交換を行っている。また、報告・連絡・相談等必要に応じて行うなど、指定期間2年目を迎え、信頼関係は更に深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

これまで来館者が自由に利用できるコミュニティスペース（学習スペース）の利用について、一定の利用ルールを定めていたが、他利用者への迷惑行為や利用に対する窓口への苦情があったことから、指定管理者と協力し、利用登録制へと改善を図ったことで、本来の目的である学習スペースとして適正に利用されるようになった。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

プラザの設置目的である市民が生涯にわたって、教養の向上等を図る事が出来るように専門的なサポートが提供出来、これまで以上に特色あるイベントを実現していく、また地域振興センターとコミュニケーションを密にとり、地域住民と共に地域課題に向け協働で取組み他の地域の模範となり魅力あるプラザにする。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

目標の利用率は達成できていないが、施設利用者が快適に利用できるよう、施設内外の日々の清掃に加え、備品等の確認の他、窓口業務においても丁寧な対応がされ市民サービスの維持・向上が図られて、利用者アンケートにおいても高い評価を得ており適正な管理業務が良好に行われている。利用者アンケートなど利用者ニーズの把握・分析を行い、迅速に対応できるものは優先して対応いただきたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

施設利用者が安心・安全で快適に利用できるよう、窓口業務など高水準での市民サービスの向上を目指していくことに加え、市と指定管理者が情報共有などを密にし、災害時における迅速な対応ができる体制の構築や互いの強みを活かした特色のあるイベントの開催など「施設のありたい姿」を常に意識し、魅力あるプラザとなるよう更に連携を深めていく。

令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立小田南生涯学習プラザ	施設所管課	地域協働局　小田地域課				
施設住所	尼崎市長洲中通1-6-10	竣工	R2.4（築満4年）				
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供						
主な事業内容	施設管理業務（①使用の許可、取り消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品に係る1件50万未満の修繕工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他）						
指定管理者名	株式会社ハウスビルシステム	指定期間	自	R6.4.1	至	R11.3.31	

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

夜間の利用率向上と音楽室の利用拡大及び市民ニーズを反映した事業の実施

実施結果

夜間利用の促進のため、令和6年度から実施した「ピラティス講座」は平均して8名の利用があり、リピーターも多くアンケートの満足度も高く好評である。11月16日に開催したフラダンスフェスティバルでは、小田南・小田北の登録グループの垣根を超え4団体が参加し、フラダンスに加え歌や演奏、キッチンカーも出店。約90名の参加があり、大きな賑わいを創出するとともにプラザグループの活動や音楽室を含めた施設の周知の一助となった。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：アンケート評価による利用者満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	80%	80%	90%	90%	90%
実績	－	－	－	－	79%	79%	75%	90%	83%	90%	
達成度	－	－	－	－	－	－	94%	112%	93%	101%	
評価	－	－	－	－	－	－	○	◎	○	○	

指標②：施設の夜間利用率（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	－	－	40%	40%	90%
実績	－	－	－	－	29%	29%	32%	32%	36%	37%	
達成度	－	－	－	－	－	－	－	－	90%	93%	
評価	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

半年に1回、接遇・マナー・個人情報取り扱いに関する研修を実施する。

実施結果及び評価

アンケートを見ても窓口対応に関する満足度は高く、利用者にとって気持ちよく利用しやすい環境が整えられている。　○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

こまめな節電やコピー用紙の裏面再利用等の環境に配慮した取組とポスター掲示等による啓発を行う。

実施結果及び評価

コピー用紙の裏面利用の徹底と、不要な照明の消灯やエアコンの温度設定に注意を促すなど、環境に配慮した運営を行っている。　○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	29,523,000	29,523,000	0	人件費	11,960,000	14,044,048	−2,084,048
			0	施設維持管理運営費	10,692,000	11,041,827	−349,827
			0	その他	6,871,000	7,107,985	−236,985
			0				0
収入計	29,523,000	29,523,000	0	支出計	29,523,000	32,193,860	−2,670,860

２　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②施設の効用を最大限に発揮させるものであるか ③施設の管理に係る経費の縮減が図られるものである ④施設の管理を安定して行う能力を有しているものであるか
指定管理者自身が設定した目標	市民どうしの「つながり」の活動支援や貸室利用率向上に取り組む。

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿		プラザの設置目的を踏まえた利用促進や利用者とのつながりを活かした学びと活動の循環の創出					
目標指標	指標	施設の利用者数（単位：人）					
	指定期間	R４	R５	R６	R７	R８	達成状況の評価
	目標値	70,000	80,000	93,500	93,500	93,500	R7年度は目標には至らなかった
	実績値	76,801	92,418	94,455	79,922		

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

令和7年10月から館長が変更となったが、引き続き館を運営する上で疑義事項などが生じた際には随時、報告・連絡・相談を行い、施設に急な修繕等が発生した場合も互いに迅速に対応することで、良い信頼関係が構築できている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

アンケートの結果からも満足度が高く、地域住民に気軽に気持ちよく使ってもらえる施設になっている。また、地域課との共催事業や指定管理者の自主事業も多く、より地域住民が利用しやすい、興味があることに参加できる施設となっている。一般利用者のスペースと、青少年の居場所である「ODA YOUTH SPACE」に仕切りを設置したり椅子を変えるなどして、スペース用途をより明確にしたことで、誰しもが使いやすいように改善するなど、より施設の管理運営に向けて、日々業務に取り組んでいる。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

令和6年度から夜間利用促進のため実施している「ピラティス講座」を、平日の夜間にも開催し仕事帰りの女性の参加を拡大していきたい。また、音楽室の利用については、個人で練習をする方も少しずつであるが増えてきている。しかし、現状ではまだまだ利用率が低いため、ドラムが設置されているなど音楽室の魅力を小田地域課のLEDサイネージなども利用しどんどん発信していきたい。地域内の学校関係・企業・団体への営業活動が出来ていなかったので、来年度はその点にも力を入れて地域のニーズを探り、利用促進に繋げていきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

アンケートを見ても利用者の満足度は高く、良好な管理運営状況である。また、様々な種類の自主事業を展開し、幅広い年齢層にアプローチしている。施設の利用者数はR6年度と比較し減少しているが、利用件数は22件の減に留まっており、1件あたりの利用者数が全体的に減少したことが要因である。来年度は利用者数の推移を注視しながら現状・課題の把握に努めていただく。今後実施していく必要のある企業等への広報・営業活動については、お互いに協力して、新たな「繋がり作り」に取り組んでいきたい。引き続き、地域課と連携しながら適切で良好な施設維持管理に取り組んでほしい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

夜間利用率の向上が引き続きの課題であるため、好評である「ピラティス講座」を平日夜間に実施し会社帰りの女性の参加拡大をはかる。また、音楽室の機材が充実している点など施設の魅力についても、LEDサイネージなどを利用して市民や近隣企業等に向け広報を行い利用率の向上に取り組む。地域内の学校関係・企業・団体への営業活動に力を入れて地域のニーズを探り、利用促進に繋げて、同時に新たな「繋がり作り」に取り組む。

令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立小田北生涯学習プラザ	施設所管課	地域協働局　小田地域課				
施設住所	尼崎市潮江1−11−1	竣工	H10.3月（築満27年）				
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供						
主な事業内容	施設管理業務（①使用の許可、取り消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品に係る1件50万未満の修繕工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他）						
指定管理者名	株式会社ハウスビルシステム	指定期間	自	R6.4.1	至	R11.3.31	

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

自主事業による利用者の拡大と来館者及び登録グループの更なる関係性の構築

実施結果

今年度から、ふれあいまつりを指定管理者の自主事業として開催し、指定管理者と登録グループ・市民企画委員で主体的に企画・運営したことでお互いの交流が深まった。また、自主事業についても目標には達していないものの昨年度から回数を増やし意欲的に取り組んでおり、こちらも引き続き取り組んでもらいたい。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：アンケート評価による利用者満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	−	−	−	−	−	−	80%	80%	80%	80%	80%
実績	−	−	−	45%	57%	61%	53%	61%	65%	84%	
達成度	−	−	−	−	−	−	66%	76%	81%	105%	
評価	−	−	−	−	−	−	△	△	△	○	

指標②：自主事業の開催回数（単位：回）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	−	−	−	−	−	−	−	−	8	8	8
実績	−	−	−	3	3	3	3	8	3	7	
達成度	−	−	−	−	−	−	−	−	38%	88%	
評価	−	−	−	−	−	−	−	−	×	×	

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

半年に1回、接遇・マナー・個人情報取り扱いに関する研修を実施する。

実施結果及び評価

図書の返却や窓口対応について2回利用者からクレームがあったが、その都度館長からスタッフ対しての指導やスタッフ間での申し送り、情報共有の徹底などを行っている。クレームはあったものの、アンケートによる利用者満足度は着々と上昇している。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

こまめな節電やコピー用紙の裏面再利用等の環境に配慮した取組とポスター掲示等による啓発を行う。

実施結果及び評価

コピー用紙の裏面利用の徹底と、不要な照明の消灯やエアコンの温度設定に注意を促すなど、環境に配慮した運営を行っている。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	26,289,000	26,707,000	418,000	人件費	11,500,000	12,355,253	−855,253
			0	施設維持管理運営費	8,731,455	11,340,807	−2,609,352
			0	その他	6,057,545	6,382,127	−324,582
			0				0
収入計	26,289,000	26,707,000	418,000	支出計	26,289,000	30,078,187	−3,789,187

２　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②施設の効用を最大限に発揮させるものであるか ③施設の管理に係る経費の縮減が図られるものである ④施設の管理を安定して行う能力を有しているものであるか
指定管理者自身が設定した目標	市民どうしの「つながり」の活動支援や貸室利用率向上に取り組む。

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿		プラザの設置目的を踏まえた利用促進や利用者とのつながりを活かした学びと活動の循環の創出					
目標指標	指標	施設の利用者数（単位：人）					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	67,000	67,000	72,000	72,000	72,000	R7年度は目標には至らなかった。
	実績値	42,177	47,894	44,902	49,263		

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

令和7年10月から館長が変更となったが、引き続き館を運営する上で疑義事項などが生じた際には随時、報告・連絡・相談を行い、施設に急な修繕等が発生した場合も互いに迅速に対応することで、良い信頼関係が構築できている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

築30年弱の施設であることから年々修繕が必要な箇所が増えている中、優先順位をつけ修繕費の中で対応してもらっている。また、新たな試みとしてふれあいまつりを指定管理者の自主事業として行い、登録グループとより密な関係性の構築ができ、利用者にとってより身近な施設になるように日々業務に取り組んでいる。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

自主事業として、図書利用者から募ったおすすめ本を展示し投票いただく「推し本バトル」を開催し、好評で次回開催を望む声も複数ありレギュラー講座として定着させたい。また、登録グループによる和紙ちぎり絵講座を開催し好評だった。その他、ロビーのブックフェアの展示に、登録グループに飾り付けを依頼したことでロビーが華やかになり利用者のみなさんにも喜んでいただき、本をたくさん手に取っていただくきっかけに繋がった。来年度もプラザが新しい出会いの拠点となるよう、さらに自主事業を増やしたい。小田地域課にはSNSの発信や事業へのアドバイス等、常に協力していただいており、来年度も連携しながら施設の充実を図っていきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

長年勤務しているスタッフも多く、図書業務や窓口業務が集中した時も迅速かつ丁寧に対応されている。また、今年度は「推し本バトル」「ふれあいまつり」をはじめ自主事業に意欲的に取り組んでおり、利用者の新たな学びと活動の拡大のため引き続き今後も期待したい。また、窓口対応については、今年度中に2回市民からのクレームが寄せられたが、その都度地域課と相互に連携し、真摯に問題解決に向けて取り組んでいる。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

今年度は、協働の取組をさらに進めるべく「ふれあいまつり」をはじめ、自主事業に意欲的に取り組んで来た。その結果、今までより一歩踏み込んだ関係性が登録グループや市民企画委員と出来てきているので、引き続きこの姿勢を来年も継続して欲しい。また、図書利用者が多い施設の特性を活かした「推し本バトル」も好評で、プラザの特徴を活かした自主事業や新たな企画を行うことで、今までプラザを利用していなかった市民にアプローチし、学びと活動の拡大に努めて欲しい。

令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立大庄南生涯学習プラザ	施設所管課	地域協働局　大庄地域課				
施設住所	尼崎市大庄西町3丁目6-14	竣工	S12(築85年)				
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供						
主な事業内容	大庄南生涯学習プラザの管理業務(①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件55万円未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計、⑥図書の貸出・返却等の運営に関する業務、その他)						
指定管理者名	株式会社ハウスビルシステム	指定期間	自	R6.4.1	至	R11.3.31	

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他(　　)

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

自主事業の実施を行い、利用率の向上を図ることや適切な窓口対応等、市民サービスの向上を図り、利用者満足度の向上につなげる。

実施結果

指標①のとおり、利用率は17.0%（年度累計）となっており、目標値は未達ではあるが、過去の実績値を上回っている状況である。また、指標②のとおり利用者満足度に関しても92%であり、前年度の数値を維持し、市民サービスの向上が確認できた。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：大庄南生涯学習プラザ利用率（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	－	－	26.1%	26.1%	
実績	－	－	－	－	－	－	11.3%	13.9%	16.7%	17.0%	
達成度	－	－	－	－	－	－	－	－	64%	65%	
評価	－	－	－	－	－	－	－	－	△	△	

指標②：プラザ利用等に係る利用者満足度（%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	67%	78%	82%	92%	
実績	－	－	－	－	－	－	77%	82%	92%	92%	
達成度	－	－	－	－	－	－	115%	105%	112%	100%	
評価	－	－	－	－	－	－	◎	◎	◎	◎	

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

適切な人員配置を行うことや利用者満足度につながる窓口対応や定期的な施設内清掃により、市民サービスを向上させる。

実施結果及び評価

原則2名のスタッフが常勤しており、館長が会議等で不在時はスタッフを1名増員する等、常時利用者の対応が出来る体制づくりを引き続き行っている。また来館者のアンケートでは職員の応対に関しての項目では「とても良い」と「良い」と回答した割合が99%、施設清掃に関しての項目では「とても良い」と「良い」と回答した割合が99%と利用者満足度が高く、市民サービスの維持・向上に繋がっている。

◎

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、環境負荷の少ない商品を購入すること(グリーン購入)を検討する。また、用紙の裏面利用や、不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価

用紙の裏面利用や、不要な電気の消灯を徹底している。また、修繕時見積が高額である場合は別の方法を検討する等、経費削減のみならず、施設管理の観点からも最善の方法を模索した。

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	20,238,182	20,238,182	0	人件費	11,250,000	12,065,963	−815,963
その他(修繕)	500,000	500,000	0	管理運営費	7,656,250	7,419,379	236,871
消費税	2,073,818	2,073,818	0	事務費	902,000	436,422	465,578
				一般管理費	929,932	2,695,963	−1,766,031
				消費税	2,073,818	2,261,772	−187,954
収入計	22,812,000	22,812,000	0	支出計	22,812,000	24,879,499	−2,067,499

２　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	「市民の平等な利用が確保されるものであるか」「プラザの効用を最大限に発揮させるものであるか」「プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか」「プラザの管理を安定して行う能力を有しているものであるか」
指定管理者自身が設定した目標	施設設置目的の達成に取り組み、市民にとって必要とされる地域資源として「地域コミュニティ形成の場」「生涯学習」の役割を果たせる施設を目指す。

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿：市の施設として親しみを感じる、誰もが気軽に来館し集える場にする。

目標指標

指標	来館者数(単位：人)					
指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	達成状況の評価
目標値	34,620	36,719	37,677			目標値は未達ではあるが、前年実績値を上回っている状況であるため、引き続き来館者数増加に努める。
実績値	27,826	29,810				

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

互いの事業への協力や、月1回の定例会議の他日頃から報告・連絡・相談を密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

「大庄生涯学習プラザまつり」では、従来の実行委員会形式による運営体制を見直し、指定管理者が主体となって事業を実施した。出演者および出展者への対応においては、指定管理者が日頃から登録グループや地域住民と良好な関係性を構築しているという強みを活かし、柔軟に行った。その結果、運営主体の変更後もトラブルを生じることなく、事業を円滑に遂行することができた。さらに、方針決定や進捗管理については施設所管課と適宜協議を重ね、全体として滞りなく事業を進行させた結果、悪天候にもかかわらず前年度を上回る来場者数を記録した。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

自主事業や大庄生涯学習プラザまつりの実施にあたり、年間を通じて大庄中学校と継続的に連携することができ、生徒が地域活動に参加する機会を創出するなど、中学生の地域交流の充実に大きく貢献した。特に、事前準備からの関与や当日の運営協力を通じて、世代間交流の促進にもつながった。
今後は、大庄地区内に所在する大庄北中学校とも新たに連携を図り、市と協議を重ねながら、より多くの中学生が地域活動に参画できる体制づくりを進めていきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

換気扇設備更新工事および雨漏りに伴う外壁調査の実施にあたり、プラザ利用者の安全面に配慮し、適宜張り紙を掲示するなどの対応を行うことで、利用者の安全な利用および工事の円滑な進捗に寄与していた。
また、自主事業については、「卓球体験会」など新たな事業への参加を契機として、地域住民同士の交流が生まれるとともに、プラザの継続的な貸室利用につなげた実績があり、目標に掲げる「地域コミュニティ形成の場」を具現化した事業といえる。
今後においても、施設管理と事業運営の双方におけるこれまでの取組を活かしながら、利用者の安全確保と地域コミュニティの活性化を両立させた施設運営を継続していくことが期待される。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

地域性を活かした貸室利用と「新たな出会い」の創出においては、学校等との連携が重要であると考えている。これまで交流してきた武庫川女子大学、関西学院大学や地区内の中学校等との連携を継続し、さらなる「新たな出会い」の創出に向けて展開していく。また、施設の特性として、図書を目的で来館する利用者が多くいることから、図書利用者へのアプローチを継続して行っていく。

令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立大庄北生涯学習プラザ	施設所管課	地域協働局　大庄地域課				
施設住所	尼崎市大島3丁目9番25号	竣工	H31.4（築5年）				
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供						
主な事業内容	大庄北生涯学習プラザの管理業務(①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件55万円未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他)						
指定管理者名	株式会社ハウスビルシステム	指定期間	自	R6.4.1	至	R11.3.31	

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

自主事業の実施を行い、利用率の向上を図ることや適切な窓口対応等、市民サービスの向上を図り、利用者満足度の向上につなげる。

実施結果

多様な自主事業を実施しており、親しみを感じる施設を目指すうえで一定の成果が出ている。指標①のとおり、利用率は35.2%（年度累計）となっており、目標値の38.5%に近い実績で推移している。指標②のとおり利用者満足度に関しても97%であり、目標の96%を達成することができた。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：大庄北生涯学習プラザ利用率（%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	－	－	38.5%	38.5%	
実績	－	－	－	－	－	－	35.3%	35.3%	35.3%	35.2%	
達成度	－	－	－	－	－	－	－	－	91.7%	91.4%	
評価	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	

指標②：プラザ利用等に係る利用者満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	86%	89%	96%	96%	
実績	－	－	－	－	－	－	88%	96%	96%	97%	
達成度	－	－	－	－	－	－	103%	108%	100%	101%	
評価	－	－	－	－	－	－	○	◎	◎	◎	

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

適切な人員配置を行うことや利用者満足度につながる窓口対応や定期的な施設内清掃により、市民サービスを向上させる。

実施結果及び評価

原則2名のスタッフが常勤しており、館長が会議等で不在時はスタッフを1名増員する等、常時利用者の対応が出来る体制づくりを引き続き行っている。また来館者のアンケートでは職員の応対に関しての項目では「とても良い」と「良い」と回答した割合が100%、施設清掃に関しての項目では「とても良い」と「良い」と回答した割合が99%と利用者満足度が高く、市民サービスの維持・向上に繋がっている。

◎

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、環境負荷の少ない商品を購入すること(グリーン購入)を検討する。また、用紙の裏面利用や、不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価

用紙の裏面利用や、不要な電気の消灯を徹底している。エアコンの温度設定に注意を促す等、環境に配慮した運営を行っている。

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	23,802,728	23,802,728	0	人件費	11,870,000	12,694,592	−824,592
その他(修繕)	200,000	200,000	0	管理運営費	10,820,240	11,668,284	−848,044
消費税	2,400,272	2,400,272	0	事務費	888,000	597,868	290,132
				一般管理費	424,488	3,120,354	−2,695,866
				消費税	2,400,272	2,808,109	−407,837
収入計	26,403,000	26,403,000	0	支出計	26,403,000	30,889,207	−4,486,207

２　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	「市民の平等な利用が確保されるものであるか」「プラザの効用を最大限に発揮させるものであるか」「プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか」「プラザの管理を安定して行う能力を有しているものであるか」
指定管理者自身が設定した目標	施設設置目的の達成に取り組み、市民にとって必要とされる地域資源として「地域コミュニティ形成の場」「生涯学習」の役割を果たせる施設を目指す。

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	市の施設として親しみを感じる、誰もが気軽に来館し集える場にする。						
目標指標	指標	来館者数（単位：人）					
	指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	達成状況の評価
	目標値	46,516	49,855	54,868			実績値として前年から大きく増加となり、また、目標値を大きく上回った。
	実績値	51,862	66,801				

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

互いの事業への協力や、月1回の定例会議の他日頃から報告・連絡・相談を密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

大庄北生涯学習プラザまつりでは、従来の実行委員会形式による運営体制を見直し、指定管理者が主体となって事業を実施した。出演者および出展者への対応においては、指定管理者が日頃から登録グループや地域住民と良好な関係性を構築しているという強みを活かし、柔軟に行った。その結果、運営主体の変更後もトラブルを生じることなく、事業を円滑に遂行することができた。さらに、方針決定や進捗管理については施設所管課と適宜協議を重ね、全体として滞りなく事業を進行させた結果、悪天候にもかかわらず前年度を上回る来場者数を記録した。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

自主事業や大庄北生涯学習プラザまつりの実施にあたり、年間を通じて大庄中学校と継続的に連携することができ、生徒が地域活動に参加する機会を創出するなど、中学生の地域交流の充実に大きく貢献した。特に、事前準備からの関与や当日の運営協力を通じて、世代間交流の促進にもつながった。
今後は、大庄地区内に所在する大庄北中学校とも新たに連携を図り、市と協議を重ねながら、より多くの中学生が地域活動に参画できる体制づくりを進めていきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

これまで継続して実施してきた自主事業に加え、「ピックルボール体験会」や「お菓子作り教室」など、新たな自主事業を実施し、プラザ職員の個性を活かす等、指定管理者ならではの事業展開が実現した。今後も、地域住民のニーズに応えつつ、地域住民との関係性の構築や地域資源を活かした継続的な事業実施に努められたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

地域性を活かした貸室利用と「新たな出会い」の創出においては、学校等との連携が重要であると考えている。これまで交流してきた武庫川女子大学、関西学院大学や地区内の中学校等との連携を継続し、さらなる「新たな出会い」の創出に向けて展開していく。また、地域団体等へのアプローチとして、近隣介護施設でのイベント開催に加え、「大庄北生涯プラザまつり」への出演・出店を契機に、貸室利用を促進し利用率の向上を目指す。

令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立立花南生涯学習プラザ	施設所管課	地域協働局　立花地域課
施設住所	尼崎市栗山町2丁目25-28	竣工	R4.1（築満4年）
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供。		
主な事業内容	施設管理業務①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品に係る1件50万円未満の修繕工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他。		
指定管理者名	株式会社　ハウスビルシステム	指定期間	自　R6.4.1　至　R11.3.31

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

当該施設を利用者が安心して利用できる環境を整え、利用者数を増やす。

実施結果

利用者のグループ化・自主事業の実施及びフリースペース(季節に合わせた飾りつけ)の整備等利用者数を増やす事業展開を行っている。

有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：接遇（スタッフの対応が良い）（単位：%）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目標	－	－	－	70	70	71	72	73	74	75	
実績	54	－	66	68	99	99	97				
達成度	－	－	－	97%	142%	139%	135%				
評価	－	－	－	○	◎	◎	◎				

指標②：年間利用者数（単位：人）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目標	－	－	－	35,000	35,000	35,100	35,150	35,200	35,250	35,300	
実績	30,501	12,982	24,406	41,123	53,304	56,282	60,477				
達成度	－	－	－	117%	152%	160%	172%				
評価	－	－	－	◎	◎	◎	◎				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

当該施設を利用者が安心して利用できる環境を整え、利用者数を増やす。

実施結果及び評価

突発修繕に対応する他、施設修繕には見積合せを欠かさず費用の削減を行いながら、市民サービス向上を行っている。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に準拠し、適合する環境負荷の少ない商品を購入すること(グリーン購入)を検討する。また、不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価

積極的にグリーン購入を行うとともに、裏面再利用を徹底している。また、換気タイム(フリースペースの窓の開閉)、貸室の設定温度の調整、利用者がいない「日・時間帯」の電気の消灯、牛乳パックのリサイクル、紙資源再利用を行っている。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	27,367,273	27,367,273	0	人件費	11,700,000	11,127,651	572,349
〃（修繕分）	200,000	173,800	−26,200	事務費	860,000	297,961	562,039
消費税	2,756,727	2,754,107	−2,620	施設維持管理運営費	13,666,000	12,235,951	1,430,049
			0	その他	4,098,000	6,304,529	−2,206,529
収入計	30,324,000	30,295,180	−28,820	支出計	30,324,000	29,966,092	357,908

２　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか②プラザの効用を最大限に発揮されるものであるか③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか④プラザの管理を安定して行う能力を有しているかの4区分を重視した。
指定管理者自身が設定した目標	利用者の高い満足度が得られる管理運営を行う

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	生涯学習の拠点として地域住民に知られ利用される施設。						
目標指標	指標	夜間や利用者が少ない曜日を把握し利用率を向上させる。					
	指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	達成状況の評価
	目標値	8 .2%	8.4%	8.6%	8.8%	9.0%	目標は達成できている。
	実績値	14.0%	21.0%				

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月1回の意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

自主事業の件数は多く、若い利用者を増やすべく、子育て世代が参加しやすい企画を立案している。また、たちばなまつりへの参画・企画等、地域課・施設利用者とのパートナーシップを日々構築している。自主事業にあっては、職員のスキル(例:子供向け事業企画)を生かし取り組んでいる。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

市民の平等利用を踏まえ、幅広い世代を対象とした自主事業を実施し、目標利用者数を達成した。特に若い世代や子育て世代向け事業の実施が、利用者増加につながっている。また、地域課と連携した居場所づくりにより、フリースペース利用者も増加している。今後は継続的な情報共有と連携強化を図り、夜間や利用の少ない曜日の更なる利用促進に取り組んでいく。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

年度目標は達成できており、利用者満足度も高く、管理業務は良好に遂行されている。施設目標の達成に向けて、自主事業を積極的に実施しグループ化に力を注ぎ、関係性を強化しながら市民サービスの向上に努めている。引き続き新規利用者の確保や、地域住民の参画を意識して業務に当たってほしい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

生涯学習の拠点として地域住民に周知し利用される施設として、夜間や利用者が少ない曜日の利用状況を分析・把握し、対象となる世代への自主事業や市との共催事業を企画することで、施設利用者の利用率の底上げを行う。このことによって全体の利用率を上げる取り組みにつなげる。

令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立立花北生涯学習プラザ	施設所管課	地域協働局　立花地域課				
施設住所	尼崎市塚口町3丁目39−7	竣工	S47.4（築満53年）				
設置目的	教育基本法（平成18年法律第120号）第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供。						
主な事業内容	施設管理業務①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品に係る1件50万円未満の修繕工事等及び修繕、⑤利用状況等統計、その他。						
指定管理者名	株式会社　ハウスビルシステム	指定期間	自	R6.4.1	至	R11.3.31	

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

当該施設を利用者が安心して利用できる環境を整え、利用者数を増やす。

実施結果

利用者のグループ化・自主事業の実施及び自習室、図書コーナーの整備等利用者数を増やす事業展開を行っている。

有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：接遇（スタッフの対応が良い）（単位：%）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目標	−	−	−	80	80	81%	82	83	84	85	
実績	61	70	84	69	99	100	99				
達成度	−	−	−	86%	123%	123%	121%				
評価	−	−	−	○	◎	◎	◎				

指標②：年間利用者数（単位：人）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目標	−	−	−	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	
実績	30,135	19,877	26,915	29,390	30,494	29,669	29,829				
達成度	−	−	−	89%	92%	90%	90%				
評価	−	−	−	○	○	○	○				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

当該施設を利用者が安心して利用できる環境を整え、利用者数を増やす。

実施結果及び評価

施設の老朽化が進む中、施設修繕には①市民サービスを優先し②費用の削減に見積合わせを欠かさず行い、市民サービス向上を行っている。　○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に準拠し、適合する環境負荷の少ない商品を購入すること（グリーン購入）を検討する。また、不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価

積極的にグリーン購入を行うとともに、裏面再利用を徹底している。また、換気タイム（1日3回アラーム利用）を設けるとともに、ごみ分別（紙資源リサイクル）や不要な電気の消灯等に努めている。　○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	25,191,819	25,191,819	0	人件費	11,390,000	11,483,599	−93,599
〃（修繕分）	500,000	500,000	0	事務費	920,000	136,312	783,688
消費税	2,569,181	2,569,181	0	施設維持管理運営費	10,629,000	10,460,389	168,611
				その他	5,322,000	5,881,960	−559,960
収入計	28,261,000	28,261,000	0	支出計	28,261,000	27,962,260	298,740

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか②プラザの効用を最大限に発揮されるものであるか③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか④プラザの管理を安定して行う能力を有しているかの4区分を重視した。
指定管理者自身が設定した目標	利用者の高い満足度が得られる管理運営を行う

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	生涯学習の拠点として地域住民に知られ利用される施設。						
目標指標	指標	夜間や利用者が少ない曜日を把握し利用率を向上させる。					
	指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	達成状況の評価
	目標値	16.0%	16.0%	16.0%	17.0%	17.0%	目標は達成できている。
	実績値	17.0%	20.0%				

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月1回の意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

プラザまつりへの参画・企画等、地域課・施設利用者とのパートナーシップを日々構築し、地域課が実施していた「フレイル予防教室」を、自主事業に取り組み参加者から大変高い評価を得ている。また、読書環境の充実を図るため月間で「お勧め本」の展示等を行っている。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

利用者への積極的な声掛けに加え、館内装飾の定期的な変更や毎月のお勧め本紹介が利用者から好評を得ている。日々の丁寧な関わりが接遇満足度の向上にもつながっている。また、幼児向け夏祭りを企画・実施し、参加者が100名を超えるなど大いに賑わった。今後は新たな取組も企画・実施し、目標利用者数の達成を目指していく。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

利用者目標は達成できなかったが、利用者満足度は高く、管理業務は良好に遂行されている。施設目標の達成に向けて、自主事業を積極的に実施しグループ化に力を注ぎ、関係性を強化しながら市民サービスの向上に努めている。施設が大変古いため、施設修繕に苦慮している部分がある。引き続き新規利用者の確保や、地域住民の参画を意識して業務に当たってほしい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

生涯学習の拠点として地域住民に周知し利用される施設として、夜間や利用者が少ない曜日の利用状況を分析・把握し、対象となる世代への自主事業や市との共催事業を企画することで、施設利用者の利用率の底上げを行う。このことによって全体の利用率を上げる取り組みにつなげる。

令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立武庫東生涯学習プラザ	施設所管課	地域協働局　武庫地域課
施設住所	尼崎市武庫之荘8丁目1-1	竣工	H5.3（築満32年）
設置目的	教育基本法（平成18年法律第120号）第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供		
主な事業内容	施設管理業務（①使用の許可、取り消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品に係る1件50万未満の修繕工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他）		
指定管理者名	株式会社ハウスビルシステム	指定期間	自　R6.4.1　至　R11.3.31

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

①利用者満足度について、10段階評価中7から10までの割合が85.0%を超えるよう運営する。
②貸室稼働率について、令和7年度末に40%を目指す。

実施結果

①目標を上回ることができた。
②貸室稼働率は前年度に比べて2.3%上昇したものの、目標値を0.9%下回る結果となった。一方でSNSを積極的に活用し、グループ活動やイベント情報を継続的に発信するなど、貸室利用の促進に向けた一定の取組が行われている。

有効性

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートの満足度調査（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	80.0%	80.0%	80.0%	85.0%	
実績	－	－	－	－	－	－	75.1%	70.7%	83.1%	86.6%	
達成度	－	－	－	－	－	－	93.9%	88.4%	103.9%	101.9%	
評価	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	

指標②：貸室の稼働率（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	35.0%	40.0%	40.0%	40.0%	
実績	－	－	－	32.7%	31.1%	34.3%	37.2%	37.7%	36.8%	39.1%	
達成度	－	－	－	－	－	－	106.2%	94.2%	92.0%	99.5%	
評価	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

計画的な修繕の実施

実施結果及び評価

法定点検等の指摘事項について、市への報告が適正になされ、修繕計画について適宜協議することができた。細かな進捗状況なども共有しながら、限られた修繕費用の中で、緊急性や危険性の高い案件を優先して修繕することができた。

◎

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

グリーン購入や節電、節水などエコオフィスづくり指針に基づく取り組みを積極的に推進する。

実施結果及び評価

コピー用紙は再生紙を購入し、他の物品においても再生利用品がある場合は積極的に活用している。また、コピー用紙の裏面の積極的な活用と、不要な照明の消灯やエアコンの適正な温度管理を徹底して取り組んでいる。さらに、館内装飾品についても繰り返し使用できるものを採用し、環境負荷の低減と資源の有効活用に配慮した施設運営を行っている。

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	29,324,000	29,239,465	−84,535	人件費	13,150,000	10,981,335	2,168,665
				施設維持管理運営費	11,119,560	13,139,870	−2,020,310
				その他	5,054,440	7,134,806	−2,080,366
収入計	29,324,000	29,239,465	−84,535	支出計	29,324,000	31,256,011	−1,932,011

２　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②施設の効用を最大限に発揮させるものであるか ③施設の管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④施設の管理を安定して行う能力を有しているものであるか
指定管理者自身が設定した目標	①「効果的・効率的な管理運営と市民サービスの向上」 ②「貸室利用率向上」

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	貸室の利用促進						
目標指標	指標	施設の利用人数（単位：人）					
	指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	達成状況の評価
	目標値	36,841	36,841	41,804			目標値を上回っており、達成できている。
	実績値	36,179	41,804				

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

定例会のみでなく、日常的に報告・連絡が行われており、意見交換や情報共有を通じて、積極的な連携が図られている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

図書事業の充実に向けた取組として「おすすめ本の展示」を毎月実施し、利用者のニーズに応じたテーマ設定や展示方法を工夫することで図書コーナーの利用促進を図ることができた。また、施設利用者との関わりにおいては、「武庫東西プラザまつり」を地域課と協働して開催し、プラザグループとの良好な連携のもと地域に開かれた事業として実施することができた。さらに令和7年度は、大人から子どもまで幅広い世代が楽しめる自主事業を前年度より充実させるとともにし、スタッフ自らが講師を務めるなど、施設利用者との交流を深めながらプラザの利用促進に寄与している。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

地域課の支援、協力の元、利用率向上を目指す取組の一つである「ただ○○をするだけの会」を実施し、世代を超えた交流の場を創出することができた。また、子どもから大人までを対象とした体験型の新規自主事業を実施することで、新たな利用層の開拓につながった。さらに、工夫を凝らした館内装飾を継続し、掲示板周辺や図書コーナーなど利用者が親しみやすい館内環境の維持に努めている。今後の課題としては、建物の老朽化に伴う修繕必要箇所に優先順位を設け、利用者が快適に利用できる環境づくりに計画的に取り組む必要がある。また、地域の学校や周辺の地域団体への広報が十分とはいえないことから、地域課の助言・協力を得ながら効果的な情報発信や連携の強化に取り組んでいきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

旧喫茶スペースにおいては、自主事業である「ただ本を読むだけの会」や「ただ編み物をするだけの会」の開催を通じて共通の趣味を持つ人々が気軽に集う場を創り出し、世代間交流の場づくりに寄与している。今後も、プラザグループの活性化や利用者の新たな出会いの創出に繋がる取組を期待している。施設の利用促進に関しては、選定時の提案内容及び年度計画に掲げた取組事項（新規利用者の開拓及び他施設との連携）について、適正な人員配置のもと着実に履行するとともに、貸室稼働率が目標値を上回るよう、さらなる取組を期待している。また、施設維持管理に関しては、法定点検結果等に基づき、修繕箇所の優先順位を整理したうえで計画的かつ効率的な修繕に取り組み、安全で快適な利用環境の維持向上に努められたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

今後も多種多様な自主事業の展開を進めるとともに、講座形式の自主事業については講座内でのプラザグループ化を見据えた働きかけを市と指定管理者が連携して行い、生涯学習プラザ利用者の学びや活動が広がるよう、双方で取り組む。また、地域課が事務局を担う地域イベント等への指定管理者の参加を通じて、貸室やプラザグループのPRを積極的に行い、新規利用者の確保に努める。さらに、プラザグループの活性化に向けて、SNSを活用した活動紹介や情報発信を行い、プラザグループの認知度向上と活動の活性化に市と指定管理者が連携して取り組む。

令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立武庫西生涯学習プラザ	施設所管課	地域協働局　武庫地域課			
施設住所	尼崎市武庫の里1丁目13-29	竣工	H29.2（築満8年）			
設置目的	教育基本法（平成18年法律第120号）第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供					
主な事業内容	施設管理業務（①使用の許可、取り消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品に係る1件50万未満の修繕工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他）					
指定管理者名	株式会社ハウスビルシステム	指定期間	自	R6.4.1	至	R11.3.31

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

①利用者満足度について、10段階評価中7から10までの割合が90.0%を超えるよう運営する。
②貸室稼働率について、令和7年度末に35%を目指す。

実施結果

①目標を上回ることができた。
②貸室稼働率は前年度比3.1%減となり、目標値を下回る結果となったものの、幅広い世代を対象とした自主事業の実施やSNSを活用した貸室紹介、イベント情報の発信など、貸室利用の促進に向けた一定の取組が行われてい

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートの満足度調査（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	80.00%	80.0%	80.0%	90.0%	
実績	－	－	－	－	－	－	80.23%	60.7%	90%	94.0%	
達成度	－	－	－	－	－	－	100.28%	75.9%	113.0%	104.2%	
評価	－	－	－	－	－	－	○	△	◎	◎	

指標②：貸室の稼働率（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	25.0%	30.0%	35.0%	35.0%	
実績	－	－	－	24.6%	17.0%	26.7%	31.4%	33.2%	34.8%	31.6%	
達成度	－	－	－	－	－	－	125.6%	110.5%	99.4%	92.3%	
評価	－	－	－	－	－	－	◎	◎	○	○	

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

計画的な修繕の実施

実施結果及び評価

法定点検等の指摘事項について、市への報告が適正になされ、修繕計画について適宜協議することができた。細かな進捗状況なども共有しながら、限られた修繕費用の中で、緊急性や危険性の高い案件を優先して修繕することができた。

◎

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

グリーン購入や節電、節水などエコオフィスづくり指針に基づく取り組みを積極的に推進する。

実施結果及び評価

コピー用紙は再生紙を購入し、他の物品においても再生利用品がある場合は積極的に活用している。また、コピー用紙の裏面の積極的な活用と、不要な照明の消灯やエアコンの適正な温度管理を徹底して取り組んでいる。さらに、館内装飾品についても繰り返し使用できるものを採用し、環境負荷の低減と資源の有効活用に配慮した施設運営を行っている。

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	27,863,000	27,853,100	−9,900	人件費	11,570,000	10,530,038	1,039,962
				施設維持管理運営費	10,676,000	11,290,973	−614,973
				その他	5,617,000	6,469,383	−852,383
収入計	27,863,000	27,853,100	−9,900	支出計	27,863,000	28,290,394	−427,394

２　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②施設の効用を最大限に発揮させるものであるか ③施設の管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④施設の管理を安定して行う能力を有しているものであるか
指定管理者自身が設定した目標	①「効果的・効率的な管理運営と市民サービスの向上」 ②「貸室利用率向上」

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	貸室の利用促進						
目標指標	指標	施設の利用人数（単位：人）					
	指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	達成状況の評価
	目標値	50,172	51,295	49,300			目標値に対して達成率が約92%となっており、概ね達成している。
	実績値	51,295	47,305				

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

定例会のみでなく、日常的に報告・連絡が行われており、意見交換や情報共有を通じて、積極的な連携が図られている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

貸室利用率の向上に向けて、利用者や地域住民との繋がりを大切にした自主事業を実施し、新規利用者の開拓や継続的な利用につながる取組を進めている。地域との関わりにおいては、「いちごちゃんフェスタ」や「武庫まつり」へのブース出店を通じて認知度向上に努めるとともに、「武庫東西プラザまつり」を地域課と協働して開催し、プラザグループとの連携を深めるなど地域とのネットワークの構築を図っている。さらに令和7年度は、地域課と共催し、児童虐待防止の啓発やリトミック、クールシェアスポット事業など、多分野にわたる事業を展開した。地域課との連携をはじめ、地域の関係者と協力しながら事業を実施することでプラザの利用促進に向けた積極的な取組を行っている。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

地域課と共催し、クールシェアスポットとして貸室を開放し、ゆったりと夕日を眺めていただく企画を実施するなど、新たな交流の機会の創出につなげた。また、地域課と協働して、武庫東生涯学習プラザと合同でプラザまつりを開催したことにより、地域の交流にも貢献できたと考える。さらに、子育て世代を対象としたゲーム参加企画やものづくり企画を実施することで、多世代の利用促進を図った。一方で、地域の学校や周辺の地域団体への広報活動が十分とはいえないことから、地域課の助言・協力を得ながら効果的な情報発信や連携の強化に取り組んでいきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

貸室の利用促進においては、令和7年度は多様な自主事業の実施を通じて、新規利用者や継続利用者の確保に寄与している。引き続き、プラザの活性化につながる取組に加え、自主事業参加者のプラザグループ化の促進や既存のプラザグループの活性化に向けた取組の充実を図られたい。選定時の提案内容及び年度計画に掲げた取組事項（新規利用者の開拓及び他施設との連携）については、適正な人員配置のもと着実に履行するとともに、貸室稼働率が目標値を上回るよう、さらなる取組を期待している。さらに、施設維持管理に関しては、法定点検結果等に基づき、修繕箇所の優先順位を整理したうえで計画的かつ効率的な修繕に取り組み、安全で快適な利用環境の維持向上に努められたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

今後も多種多様な自主事業の展開を進めるとともに、講座形式の自主事業については講座内でのプラザグループ化を見据えた働きかけを市と指定管理者が連携して行い、生涯学習プラザ利用者の学びや活動が広がるよう、双方で取り組む。また、地域課が事務局を担う地域イベント等への指定管理者の参加を通じて、貸室やプラザグループのPRを積極的に行い、新規利用者の確保に努める。さらに、プラザグループの活性化に向けて、SNSを活用した活動紹介や情報発信を行い、プラザグループの認知度向上と活動の活性化に市と指定管理者が連携して取り組む。

令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立園田東生涯学習プラザ	施設所管課	地域協働局　園田地域課				
施設住所	尼崎市食満5丁目8-46	竣工	R3.2（築満5年）				
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供						
主な事業内容	施設管理業務(①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他)						
指定管理者名	尼崎市文化振興財団・シルバー人材センター共同事業体あまがさきコミュニティパートナーズ	指定期間	自	R6.4.1	至	R11.3.31	

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

プラザ利用者へのフォロー、市民のニーズを的確にキャッチした魅力ある事業展開、広報の強化等を通じて、新規利用者の増加とリピーター化に取り組む。

実施結果

新規利用者の獲得等に向けた取組として、指定管理者のノウハウを活かし、誰でも気軽に音楽に触れることのできるコンサート事業を実施した他、しめ縄飾り作りやイラスト作品募集展示等の体験型・参加型の事業を行うこと、事業申込方法に二次元コードを導入するなどの改善により、さらに幅広い利用者に施設を知り、訪れてもらう取組を進めた。また、3階ホールの設備操作サポート等、利用者の利便性を向上させる取組を継続した。これらの取組を通じ、新規利用者獲得やリピーター化に努めている。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：園田東生涯学習プラザ利用者満足度（単位：%）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目標	－	－	－	83%	84%	86%	87%	88%	89%	90%	
実績	－	－	82%	80%	93%	90%	89%				
達成度	－	－	－	96%	111%	105%	102%				
評価	－	－	－	○	◎	◎	○				

指標②：園田東生涯学習プラザ利用率（単位：%）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目標	－	－	－	25%	27%	28%	29%				
実績	42%	32%	23%	28%	30%	27%	27%				
達成度	－	－	－	112%	109%	98%	92%				
評価	－	－	－	◎	○	○	○				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者のニーズや要望に迅速に対応し、利用者が満足感を得られるような施設環境づくりに努める。

実施結果及び評価

利用者からの要望に応じて、ホールの照明操作説明を2件実施し、ホールの舞台袖で暗い中でも操作がしやすいよう操作盤に新たな簡易照明を設け改良した。また、利用率の低い実習室を自主事業「手作りおみそ教室」等で活用し、施設利用の機会や多様な学びの機会を提供した。こうした取り組みにより、利用者の利便性や満足感を向上させており、今後も利用者ニーズを把握し、よりよい施設環境づくりに努めていく。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理を両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

資料印刷時は両面コピー、裏面再利用に努めるとともに、エアスイングファン活用等による3階ホールの効率的な空調運用や不要な電気の消灯による省エネルギーを図る。また、植栽等によるプラザ周辺の環境整備に努めていく。

実施結果及び評価

両面コピー・裏面再利用等の紙資源節約の取組を励行している。また、貸館利用のないフロアの消灯や、利用者にも呼びかけて3階ホール空調使用時のエアスイングファン作動を励行することで電力消費を抑制している。また、プラザ内で花壇や地域伝統野菜田能の里芋を育成する等、地域環境への貢献にも努めている。

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	28,913,000	28,913,000	0	人件費	13,315,000	15,168,258	−1,853,258
修繕費	220,000	220,000	0	施設維持管理運営費	11,950,000	12,464,336	−514,336
実費弁償金		1,595	1,595	事務費・一般管理費	1,219,546	1,554,884	−335,338
			0	消費税	2,648,454	724,464	1,923,990
収入計	29,133,000	29,134,595	1,595	支出計	29,133,000	29,911,942	−778,942

２　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮させるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているものであるか
指定管理者自身が設定した目標	地域住民と共に、地域課題の解決に向けて協働して取り組み、また、地域課との連絡調整を密にしながら、市民サービス向上と、より効果的・効率的な管理運営を行うと共に市民のニーズを的確にキャッチした魅力ある事業展開を実施することにより、地域に愛され魅力ある施設を目指す。

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	生涯学習及び自治のまちづくりを支える拠点として、地域に愛されるプラザ、他の地域の模範となる魅力ある施設を目指す。						
目標指標	指標	利用者満足度（%）　※前期指定期間の平均値を基準に5年間で5pt向上を目指す。					
	指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	達成状況の評価
	目標値	86.00	87.00	88.00	89.00	90.00	前年度から実績値は減少したものの、目標は達成している。
	実績値	90.00	89.00				

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月1回の定例会を実施するとともに、プラザ内に地域課が所在する強みも活かし、必要に応じて随時、市側と指定管理者とでコミュニケーションを取り合い、報告・連絡・相談や情報共有を緊密に実施した。これにより信頼関係を構築・強化することができた。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

園田地域課が実施する「そのだ子育てカフェ」と連携し、自主事業「0歳からのクラシックコンサート」を実施するなど、園田地域課や地域団体との事業を協働して行った。双方のホームページを活用した情報発信により、効果的な広報に努めた。また「園田プラザまつり」では、指定管理者が企画段階から参画し、舞台照明の専門知識を活かしてステージの運営を担い、お互いが連携したことでプラザの活性化に繋がった。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

コンサートなど、指定管理者として持つノウハウを活かした事業を実施できた。また、二次元コードを使った申込方法を新たに設けるなど、より参加しやすい環境を整備した。こうした事業・取組により、新たに施設を利用してもらうきっかけづくりができたと考えている。一方で、3階ホールが利用予定日に近い時期にキャンセルされることによるホール利用機会の損失など、さらなる利用率向上に向けた課題が見られる。また、登録グループ数減少やメンバーの高齢化も進行している。いずれも、市と連携しながら対策を考えていきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

施設の運営に係る成果として、利用者満足度は令和7年度末実績で89%となっており、昨年度実績から概ね維持できているため、指定管理者の丁寧な接遇と設備や植栽等の維持管理により、良好な利用環境が実現されていると評価できる。一方で、利用者アンケートの意見に接遇についての指摘があったことから、今後の課題として、引き続き利用者満足度の水準を維持するために、接遇研修に取り組んでほしい。また、指定管理者のノウハウを活かした事業や、地域資源を活かすなど地域性の高い事業の展開、プラザグループの活性化とつながり強化に向けた取組に加えて、利用者アンケートを分析しニーズに合った講座の実施やホームページだけでなくSNSを活用した広報に取り組み、新規利用者の増加につなげてほしい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

指定管理者は引き続き、利用者満足度の維持や利用率を向上させ、新たな施設利用者獲得につながる事業展開に取り組んでいく。市は指定管理者の取組を支援し、3階ホールの直前キャンセル等の課題解決に向けて状況を整理しながら協働して取り組むことにより、利用者が満足感を得られるような施設環境づくりを進め、地域に愛され魅力ある施設を目指していく。

令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立園田西生涯学習プラザ			施設所管課	地域協働局　園田地域課			
施設住所	尼崎市食満2丁目1－1			竣工	H1（築満38年）			
設置目的	教育基本法（平成18年法律第120号）第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供							
主な事業内容	施設管理業務（①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他）							
指定管理者名	尼崎市文化振興財団・シルバー人材センター共同事業体あまがさきコミュニティパートナーズ	指定期間	自	R6.4.1	至	R11.3.31		

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者が安心・安全に施設を利用できるよう管理・運営を行うとともに、施設の強み（図書コーナー等の活用）を活かした事業の実施を通じて利用者数の増加を目指す。

実施結果

適切な修繕を実施するなど安心・安全な管理・運営に努めた。また、中央図書館と連携した「おすすめ本の展示」やプラザグループと協働で「絵本の読み聞かせ」を実施するほか、主催事業である「園田大作戦」を実施 したが、利用者数が前年度より減少しているため、今後は利用者のニーズを分析した事業の実施に取り組んでいく必要がある。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指 標 ①：　園田西生涯学習プラザ利用者満足度（単位：%）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目標	－	－	－	66%	67%	67%	70%	72%	74%	76%	
実績	－	－	65%	58%	75%	84%	82%				
達成度	－	－	－	87%	112%	125%	117%				
評価	－	－	－	○	○	◎	○				

指 標 ②：　園田西生涯学習プラザ利用率（単位：%）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目標	－	－	－	24%	27%	24%	25%				
実績	33%	20%	22%	25%	23%	24%	24%				
達成度	－	－	－	104%	84%	100%	96%				
評価	－	－	－	○	△	○	○				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者が安心・安全に施設利用を行えるよう適切な修繕や施設管理を行い、丁寧な応対に努め、利用者の満足度向上を図る。

実施結果及び評価

築年数の経過に伴い突発的な設備の不具合が発生したが、限られた修繕費用の中で優先順位付けして修繕を実施し、安心・安全な管理・運営に努めた。窓口スタッフは利用者への声掛けを行うなど親しみやすいコミュニケーションに努め、利用者の満足度向上を図った。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

印刷時の両面コピーや裏紙の再利用、不要な電気の消灯など光熱水費の節減に努め、環境に配慮した施設管理を実施する。

実施結果及び評価

コピー用紙の両面印刷や裏面再利用に努めるとともに、貸室利用がないスペースの電気消灯を徹底し、電力消費を抑制している。また、令和5年度及び6年度に施工した工事により空調設備が一新されたため、より一層効率的な空調管理が行えている。

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	26,076,800	26,076,800	0	人件費	12,302,000	12,402,837	−100,837
修繕費	552,200	552,200		施設維持管理運営費	9,564,000	11,842,204	−2,278,204
			0	事務費・一般管理費	2,342,182	884,918	1,457,264
			0	消費税	2,420,818	501,170	1,919,648
収入計	26,629,000	26,629,000	0	支出計	26,629,000	25,631,129	997,871

２　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮させるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているものであるか
指定管理者自身が設定した目標	地域課題の解決に向けて地域課と協働して取り組み、また、地域課との連絡調整を密にしながら、市民サービス向上と、より効果的・効率的な管理運営を行う。 市民のニーズを的確にキャッチした魅力ある事業展開を実施することで魅力ある施設を目指す。

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿		生涯学習及び自治のまちづくりを支える拠点として、地域に愛されるプラザ、他の地域の模範となる魅力ある施設を目指す。					
目標指標	指標	利用者満足度（%）　※前期指定期間の平均値を基準に5年間で10pt向上を目指す。					
	指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	達成状況の評価
	目標値	67.00	70.00	72.00	74.00	76.00	前年度から実績値は減少したものの、目標は達成している。
	実績値	84.00	82.00				

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	要改善
選定時の提案内容が実施されているか	要改善
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月1回の定例会を実施するとともに、市と指定管理者で施設管理・運営状況を共有し、管理・運営方針が相互間で共通認識となるようコミュニケーションを図った。また、令和8年度施工予定の長寿命化工事に関する協議を重ねる中で、より強固なパートナーシップを構築することができた。一方で館長が他の業務と兼任しており常駐していないことから、現場状況の把握や課題共有の機会のより一層の充実を図るために館長が常駐できる体制づくりが望まれる。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

施設設備の老朽化が進む中で、令和8年度に予定している長寿命化工事と二重投資にならないか協議しながら適切な修繕対応や貸与備品の適正な管理に努めた。また、プラザで栽培した地域の伝統野菜「田能の里芋」を活用した自主事業「親子クッキング里芋カレー」の実施や双方のホームページを活用した情報発信に取り組んだことで、地域の魅力発信を図った。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

長寿命化工事に係る設計委託の人材不調等により、工事の施工時期が当初の予定から順延となったことで、計画的な修繕の実施に支障が生じた。施設の老朽化が進行しており、利用者に対して問題が起きないよう修繕対応を余儀なくされている。安全・安心、快適な施設を維持管理するためにも、長寿命化工事の施工を進めてほしい。また、貸室利用予定日に近い時期にキャンセルされることによる貸室利用機会の損失など、さらなる利用率向上に向けた課題が見られる。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

近年、頻繁に施設の工事を実施している状況でも、柔軟かつ丁寧な施設の管理・運営を行うことで、利用者満足度を達成している。引き続き利用者満足度を維持するため、ホームページでの講座情報や施設の取組みなどを充実させるとともに、SNSを活用した積極的な広報に取り組んでほしい。また、指定管理者のノウハウを活かした事業や、地域資源を活かすなど地域性の高い事業の展開、図書コーナーや併設されている園田体育館などの施設の特色を活かした事業、特に園田体育館との合同事業「園田大作戦」では、体育館指定管理者と協働しプラザ利用者と体育館利用者が相互に施設を利用する仕組みづくりを行ってほしい。これらの事業を実施することで、利用率の向上や新規利用者の増加を期待する。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

長寿命化工事の円滑な実施に向けて、市と指定管理者で綿密な連携及び情報共有を行い、利用者への丁寧な対応を進めていく。また、「施設のありたい姿」を実現するために、利用者のニーズを分析したうえで、指定管理者のノウハウや施設の特色を活かした事業を展開し、地域に愛される魅力的なプラザを目指していく。

令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立園田東会館	施設所管課	地域協働局　園田地域課				
施設住所	尼崎市戸ノ内町３丁目27-1	竣工	S58.3（築満43年）				
設置目的	市民の生活文化の向上を図るための各種の研修、レクレーション及び集会の場の提供						
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと地域に対する市民活動の促進・支援						
指定管理者名	株式会社ハウスビルシステム	指定期間	自	R7.4.1	至	R12.3.31	

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

従来の利用者層と異なる多様な市民の利用を促す仕掛けづくりを通じて、市民相互の交流を促進する。

実施結果

子育て世代向けの事業として、令和7年7月に尼崎市立園田東小学校の図書ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施した結果、新たな来館につながった。また、もともと長机を口の字に並べた会議室風の配置であったフリールームについて、よりコミュニケーションを取りやすく居心地の良い空間となるよう、4人掛けの机を複数個導入し、仕様変更を実施した。こうした取組の結果、指標①・②のとおり目標値を上回る実績値を達成し、市民相互の交流を促進する環境づくりが進められている。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：施設の利用率（単位：%）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目標	－	－	－	－	8.50%	13.21%	17.00%	20.00%	23.00%	26.00%	30.00%
実績	－	2.83%	5.12%	7.78%	11.21%	15.66%	20.51%				
達成度	－	－	－	－	131.9%	118.5%	120.6%				
評価	－	－	－	－	◎	◎	◎				

指標②：施設の来館者数（単位：人）　※指定管理期間（5年間）で30%の増加を目指す。

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目標	－	－	－	－	－	－	3,626	3,831	4,036	4,241	4,447
実績	－	－	－	－	－	3,421	5,165				
達成度	－	－	－	－	－	－	142.4%				
評価	－	－	－	－	－	－	◎				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

接遇向上に向けた取組、利用者の安心を守る取組、及び誰にとっても利用しやすい環境づくりを通じた市民サービスの維持・向上を目指す。

実施結果及び評価

マナー研修及び個人情報取扱研修をオンラインで実施することにより、スタッフの接遇力向上に努めた。また、不審者等への備えを強化し、利用者の安心を守るため、受付窓口及びフリースペースに防犯カメラを導入した他、施設利用者が安全に通行できるように駐車禁止場所である施設西側通路沿いへカラーコーンを設置した。さらに、多言語対応可能なタブレット端末を導入し、誰でも利用しやすい環境作りを進めた。

◎

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

こまめな気温管理を通じた省エネの取組を進めるとともに、園田東会館の特長である豊富な樹木や庭の適切な維持管理を通じ地域環境美化に貢献する。

実施結果及び評価

気温計のこまめな確認による空調温度の管理に加え、施設の使用していない場所の消灯、職員研修のオンライン化によるペーパーレス化の推進により、省エネの取り組み及び効率的な施設管理を進めている。また、施設の特長である樹木等の樹木剪定・除草作業を6月・11月に実施し、施設の美観維持を通じて地域環境の美化に取り組んだ。

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	10,996,200	10,996,200	0	人件費	6,100,000	6,130,426	-30,426
消費税	1,221,800	1,221,800	0	施設維持管理運営費	2,750,600	3,034,244	-283,644
			0	事務費・一般管理費	280,000	1,714,543	-1,434,543
			0	消費税	1,221,800	1,221,800	0
収入計	12,218,000	12,218,000	0	支出計	10,352,400	12,101,013	-1,748,613

２　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるかどうか。 ②会館の効用を最大限に発揮させるとともに、会館の管理に係る経費の縮減が図られるものであるか。 ③会館の管理を安定して行う能力を有しているものであるか。
指定管理者自身が設定した目標	市民の生活文化の向上を図る取組と、地域連携によるコミュニティの活性化を図る取組を通じ、市民相互の交流を促進する。

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域住民の交流拠点として、これまで以上に認知度を高め、多様な世代の住民が気軽に立ち寄れる場となることにより、地域コミュニティの形成に貢献する施設を目指す。						
目標指標	指標	施設の利用率（単位：%）　※令和11年度までに30%達成を目指す。					
	指定期間	R7	R8	R9	R10	R11	達成状況の評価
	目標値	17.00	20.00	23.00	26.00	30.00	施設利用率は毎年度漸増しており、令和7年度目標を達成することができた。
	実績値	20.51					

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月1回の定例会を実施し情報共有・意見交換等を行うとともに、随時、施設訪問の機会や電話等を通じて報告・連絡・相談を実施した。こうしたコミュニケーションを通じ、信頼関係を構築・強化するとともに、協働の取組をさらに進めるよう努めた。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

地元の自主防災会、市及び指定管理者とともに「戸ノ内南部地域防災訓練」を実施し、水害リスクの高い地域の課題に共同で取り組んだ。また、昨年度に引き続き、施設や登録グループに対する地域住民の認知度向上に向けて、「戸ノ内ミーツ」を3月に開催し、施設利用の促進・地域コミュニティの活性化を図った。さらに、市と指定管理者が適時適切に連携して業務を進行させるため、新たに進行管理表を作成し、共有した。こうした取り組みを通じ、協働の取組強化に努めた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

地域協働により「戸ノ内南部地域防災訓練」を実施した他、今年度の新たな取組として、地域の伝統野菜「田能の里芋」の植付・収穫を実施し、施設を舞台にした地域のふれあいが生まれた。また、高齢者層向けの自主事業を継続開催するとともに、市とともに「ウィンナー飾り切り講座」など子供向けの講座を実施し、幅広い年齢層の来館促進に取り組んだ。3月には「戸ノ内ミーツ」を開催し、琉球舞踊や箏曲の演奏やボランティアグループによるワークショップを実施した。今後も地域住民の要望や域課題により応えられるような取組を、市と協力して実施していきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

施設の運営に係る成果として、新たな自主グループの登録とこれに伴う貸室利用率の上昇傾向が認められ、指定管理者の丁寧な接遇や自主事業の実施、利用者や自主グループへの支援により利用の活性化が図られているものと評価できる。課題として、貸室利用率が他施設と比較して低位であることが挙げられ、貸室利用率のさらなる向上を図るために、自主事業や施設特性などの積極的な広報、特定のメンバーや高齢者層に偏りがちな利用者層の多様化が求められる。今後、地域の中での施設の認知度向上、親子や若い世代の利用者を増やす自主事業や施設環境づくりをさらに進めて頂きたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

既存自主事業の実施に加え、子育て世代や若年層等への交流機会の創出に繋がるような自主事業を展開し、施設利用者の多様化を図り、より幅広い世代からの施設認知度向上を目指す。また、アンケート等を活用した利用者ニーズの把握・分析を行い、さらなる施設利用率向上のため、市と指定管理者の協働で効果的な自主事業の実施や施設環境の整備、積極的な情報発信を進めていく。